



客室リニューアルに先駆けて

ユニフォームを鹿児島らしくエレガントに一新

伝統工芸・薩摩切子のモチーフをアクセントにした、重厚感のあるデザインへ

2020年4月1日(水)

SHIROYAMA HOTEL kagoshima (城山観光株式会社/所在地:鹿児島市/代表取締役社長:東 清三郎)は、客室リニューアルに先駆けて、2020年4月1日(水)に宿泊サービス部のユニフォームを一新いたします。

本年9月に完成予定の東棟客室リニューアルでは、200平米のスイートルームや10Fのクラブフロア化など、よりラグジュアリーな施設が誕生します。これに先駆けて、宿泊サービス部スタッフのユニフォームも刷新。「Feel of Legacy」のコンセプトに基づき、エレガントに57年続く老舗ホテルならではの重厚感を表現しました。全てのセクションのネクタイ、リボンなどに伝統の技“薩摩切子のモチーフ”をあしらうことで、客室改装と同じく「鹿児島らしさ」も表わしています。セクションごとに特徴をもたせ、お客様が一目でわかる視認性の高さも心がけました。

重厚感とエレガントな雰囲気、かつ鹿児島らしさを取り入れたユニフォームの着用で、スタッフ一人ひとりが地域を代表するホテルエリートとしての心構えを新たに、鹿児島らしいあたたかく心潤すおもてなしを体現してまいります。

■【新ユニフォーム概要】

※デザイン・制作は鹿児島の魅力を熟知する地域の老舗百貨店・山形屋様。

※薩摩切子柄は全てコーポレートカラーのエンジ色。



レセプション

コンシェルジュ
(右はチーフ)

レセプションマネージャー

【レセプション】

ジャケットはモカ色で、縦に差したブラックラインとノーカラーでシャープな印象。男性のネクタイと女性のリボンは薩摩切子柄。(マネージャーのジャケットは、ブラック)。

【コンシェルジュ】

フロントに縦に配したブラックラインとフレアスカートのシルエットでスタイルアップを実現。スカートの裾にジャケットと同色のテープがひらひらと揺れるアクセントあり。



ゲストサービス

ドアマン／左:秋冬 右:春夏

【ゲストサービス】

ジャケットは、茶色・黒・モカのミックス調で、パンツとバランスを取りやすい長めの丈。ベレー帽のサイドに薩摩切子柄。

【ドアマン】

(秋冬)ベストを重ね着しているように見えるロングジャケット。ネクタイは薩摩切子柄。

(春夏)通気性を高め、帽子上部にもメッシュ素材を使用。

【お客様からのお問い合わせ】

〈ナビダイヤル〉0570-07-4680（受付時間 9:00～18:00）

【報道関係者様からの本リリースに関するお問い合わせ】

SHIROYAMA HOTEL kagoshima 〒890-8586 鹿児島市新照院町 41-1

企画広報部 吉岡／岩本 TEL:099-224-2212 FAX:099-224-6686

E-mail: iwamoto@shiroyama-g.co.jp